

(令和6年4月1日現在)

法人名	たまやま振興株式会社	所管課	産業振興課
所在地	〒 028 - 4134 盛岡市下田字生出893番地11		
電話番号	(019) 683 - 3215	設立年月日	平成9年9月5日
代表者	代表取締役社長 熊谷俊彦 ☐ 常勤 ☒ 非常勤 ☒ 市OB ☐ 市現職 ☐ その他		
設立目的	農村資源を活用した都市との交流を推進し、地域の活性化を図ると共に市民の保養と憩いの場として心身の健全化に向けて、利用促進を図る。		
主要事業	① 宿泊事業 ② クアハウス(温泉入浴)事業 ③ 食工房事業 ④ 郷土食販売事業 ⑤ 産直売店事業 ⑥ 地場産品・特産物の開発		

法人のホームページの有無	
☒ ある（アドレス http://yutoland-himekami.com/ ）	
☐ 作成中・作成計画あり（公開予定時期 令和 年 月）	☐ 作成予定なし
法人ホームページでの情報の提供内容（作成中の法人においては提供予定内容）	
☒ 事業内容	☐ 財務状況 ☐ 役員氏名 ☐ その他（ ）
ホームページ以外での情報提供の方法	
盛岡市ホームページで出資法人としての行政評価を公表。同市情報公開室で決算関係書類閲覧可能。	

			常勤			非常勤	合計	
			うち市OB	うち市派遣				
役員	取締役					7	7	
	監査役					2	2	
	計		0	0	0	9	9	
職員	管理職	正職員	1	0	0	0	1	
		臨時職員	0	—	—			
	一般職	正職員	6			17	29	
		臨時職員	6	—	—			
	計	正職員	7	0	0	17	30	
		臨時職員	6	—	—			
	前年度と比較して職員数の増減			増 1	減 0	常勤職員の平均年齢	53	歳
	常勤職員の給与体系							
☐ 法人独自の給与体系 ☒ 市の給与体系を準用 ☐ その他()								

4 財政状況等

資本金 (基本財産)	55,000 千円	本市出資等額	47,500 千円	本市出資等割合	86.3 %
主な出資等者					
① 盛岡市	(出資等割合 86.3 %)				
② 新岩手農業協同組合	(出資等割合 9.1 %)				
③ 岩手中央酪農業協同組合	(出資等割合 3.6 %)				
④ 盛岡商工会議所	(出資等割合 0.9 %)				
⑤	(出資等割合 %)				
令和6年度における当 市の財的関与の状況	補助金	0 千円	(収入全体の %)		
	負担金・交付金	0 千円	(収入全体の %)		
	委託料	5,200 千円	(収入全体の 2.8 %)		
	指定管理料	36,700 千円	(収入全体の 20.3 %)		
	貸付金	0 千円	(収入全体の %)		
補助金内訳					
①			(令和6年度予算額	千円)	
②			(令和6年度予算額	千円)	
③			(令和6年度予算額	千円)	
負担金・交付金内訳					
①			(令和6年度予算額	千円)	
②			(令和6年度予算額	千円)	
委託料内訳					
①	令和6年度盛岡市地域おこし協力隊活動推進事業支援業務委託費		(令和6年度予算額	5,200	千円)
②			(令和6年度予算額	千円)	
指定管理料内訳					
①	盛岡市総合交流ターミナル指定管理料		(令和6年度予算額	36,700	千円)
②			(令和6年度予算額	千円)	
③			(令和6年度予算額	千円)	
貸付目的		(貸付金がある場合記入)	利用料金対象施設		(利用料金制を採用している施設がある場合記入)
			盛岡市総合交流ターミナル【ユートランド姫神】		
			利用料金収入(令和6年度予算額)	142,000	千円
			法人の収入全体の	78.8	%

5 指定管理者となっている公の施設(現在、公の施設の指定管理者となっている団体のみ記入)

施設の名称	盛岡市総合交流ターミナル【ユートランド姫神】
-------	------------------------

6 法人の経営内容の詳細

(1) 取組目標

指標名	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度
①売上目標	千円	計画	108,900	125,000	125,000
		実績	92,703	111,456	127,148
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
④		計画			
		実績			

※ 1 中長期計画等を策定している場合、計画に盛込まれている目標等を記載してください。

2 中長期計画等を策定していない法人で、毎年度の目標等を設定している場合は、その目標等を記載してください。

3 毎年度の目標等を設定していない場合は、法人の活動が具体的に数値として表れるものを記載してください。

(2) 経営状況

(単位:千円、%、人)

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度
収支の状況	売上高(A)	92,703	111,456	127,148
	売上総利益	78,180	92,837	104,202
	販売費・一般管理費(B)	125,392	138,331	143,149
	営業利益	▲ 47,212	▲ 45,493	▲ 38,947
	経常利益(C)	2,333	▲ 1,703	▲ 4,754
	税引前当期純利益	2,333	▲ 1,703	▲ 4,754
	当期純利益	2,148	▲ 1,888	▲ 4,939
財産の状況	資産(D)	41,993	40,328	26,061
	うち流動資産(E)	39,139	36,030	21,905
	うち固定資産	2,854	4,298	4,156
	負債	29,263	29,486	20,159
	うち流動負債(F)	18,072	25,363	20,159
	うち短期借入金(G)			
	うち有利子負債(H)			
	うち固定負債	11,191	4,123	0
	うち長期借入金(I)	11,191	4,123	0
	うち有利子負債(J)			
	純資産	12,731	10,843	5,903
	うち資本金(K)	55,000	55,000	55,000
	うち剰余金(L)	▲ 42,269	▲ 44,157	▲ 49,097

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度
組織の状況	常勤役員数(M)	0	0	0
	うち本市OB	0	0	0
	うち本市派遣職員	0	0	0
	職員総数(N)	29	30	29
	うち常勤職員数	29	30	29
	うち本市OB	0	0	0
	うち本市派遣職員	0	0	0
	うち管理職員数	0	0	0
	常勤役員比率(M/総役員数)	0.0	0.0	0.0
	管理職員比率	0.0	0.0	0.0
	職員新規採用数	1	0	0
うち常勤職員数	1	0	0	
経営指標	売上高経常利益率(C/A)	2.5	▲ 1.5	▲ 3.7
	販売費・一般管理費比率(B/A)	135.2	124.1	112.5
	流動比率(E/F)	216.5	142.0	108.6
	借入金依存度((G+I)/D)	26.6	10.2	0.0
	自己資本比率((K+L)/D)	30.3	26.8	22.6
	有利子負債比率((H+J)/(M+N))	0.0	0.0	0.0
	職員一人当たり売上高(A/(M+N))	3,196	3,715	4,384
本市の財政的関与等の状況	補助金額			5,842
	① 盛岡市指定管理者エネルギー価格高騰対策支援金			5,842
	②			
	③			
	負担金・交付金額			
	①			
	②			
	委託金額		3,634	4,799
	① 盛岡市地域おこし協力隊活動推進事業支援業務委託費		3,634	4,799
	②			
	上記のうち再委託額			
	上記業務の委託契約方法		特命随契	特命随契
	指定管理料	48,388	36,897	26,567
	①	48,388	36,897	26,567
	②			
	③			
	貸付金額			
損失補償額				
債務保証額				
令和5年度決算の概要				
令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したこともあり、利用者数が回復傾向を見せていることから、売上高は計画を上回る127,148千円となったが、固定的経費については、燃油価格の高騰に伴い燃料費と水道光熱費が増嵩される要因が続いていることや、施設の老朽化等の対応のための施設管理費が増えたことなどから、販売費・一般管理費が増加し営業利益は▲38,947千円となった。				
純売上高及び営業外収益161,574千円、売上原価並びに一般管理費・営業外費用166,328千円となり経常利益▲4,754千円、当期純利益▲4,939千円となった。				

7 所管課による財務状況についての点検評価結果

D	A:良好、 B:概ね良好、 C:改善を要する、 D:大いに改善を要する
(コメント) 純売上高は改善傾向であるが、老朽化した施設の対応や燃油価格高騰等による販管費の増嵩を吸収できる水準ではなく、引き続き収支改善に向けての取り組みが必要な状況である。 したがって、営業収支の黒字化には、まだ時間を要する。	

※参考(別紙フローチャートによるチェック)

番号	質問	チェック欄	
		はい	いいえ
1	令和4年度決算において黒字である。		○
2	令和5年度決算において黒字である。		○
3	累積欠損金がある。	○	
4	令和5年度決算において減価償却前黒字である。		○
5	事業計画どおりの償却前赤字である。		○
6	概ね3年以内に単年度黒字可能である。		○
7	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%未満である。		○
8	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%～100%である。	○	
9	累積欠損金があるが、対自己資本比率は100%超である。		○